

狭山市教育委員会
教育長 松本 晴夫 様

狭山市立中央中学校
校長 ・ 関 田 重 雄

平成26年度 狭山市立中央中学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)わかる授業の創造・体力の向上 (2)豊かな心育成 (3)美しい学校づくり
(4)地域・保護者との信頼関係の強化 (5)小・中連携の強化

2 本年度の経営方針

協働と信頼を通し、日々の努力を積み重ね、生徒の思いや願いを実現する力の育成を図る。

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(100%) B:概ねできている(90%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	教職員、保護者とも学校評価において100%近い評価を得ており、今後とも周知のための工夫改善を図る。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	B	重複や不合理な係り分担について組織の見直しを図り、責任の所在を明らかにし合理的な組織運営を図る。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	B	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編制されたか。	A	計画的に実施でき成果をあげることができた。授業時間確保のため時間割の変更が多くあったことについては、できるだけ急な変更がない、または連絡が徹底できる仕組みを作る。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか。	A	学年・学級経営案の作成と活用について研修を行い、学年・学級経営の改善を図る。若手教員の育成のため、月に1回の学級経営研修を実施する。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	B	
	14	意図的、計画的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	17	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	B	
5 学習 指導	18	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	朝の読書の効果的な実施に関する研修と引き続き授業力向上のために授業研究会を実施する。視聴覚機器について活用が進んでいるが、一層の充実を図る。
	19	児童生徒が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	20	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	21	児童生徒の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
	22	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な活用がなされたか。	A	
6 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされたか。	A	計画通り実施できている。年間計画の見直しを図る。
	26	道徳の時間が生徒の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
8 特別 活動	27	全体計画を理解し、生徒の自己決定の場が多く設定されたか。	A	計画に従って予定通り実施できたが、生徒の自治的活動が弱いいため、委員会活動と組織の見直し行う。
	28	全体計画が、生徒の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	生徒会活動などの特性が理解され、生徒の自己実現がなされたか。	B	
	30	奉仕活動の活発化が図られたか。	B	

領域	番号	評価の観点	達成状況	改善の方策
9 学校 行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	行事に対する学校評価は高いが、企画・提案等に分担については再確認が必要である。
	32	学校行事の特性を生かし、生徒の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互いに協力がなされたか。	B	
10 生徒 指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	週1回の生徒指導部会で情報共有が図られ計画的に共通理解をもって生徒指導が図られた。いじめ・不登校への対応も組織的に行われた。清掃活動は「生徒自ら黙々と」を目標に無言清掃に取り組んで、現在継続中である。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドを心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	生徒が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	B	
	40	いじめや不登校の指導が積極的なされたか。	A	
	41	不登校生徒が出ないよう努力がなされたか。	A	
11 進路 指導	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	1、2年生の日常的な進路指導の充実が課題である。行事としてのキャリア教育は成果をあげた。
	43	全体計画に基づき、計画的な指導が行われたか。	A	
	44	生徒が自己の生き方について考えることのできる授業や指導がなされたか。	A	
12 保健 ・ 安全 指導	45	家庭との連携が行われたか。	A	体力向上が図られ、保健・安全についても適切に対応できた。性に関する指導は全学年で取り組むことができた。給食指導と食育について来年度は栄養教諭と連携して実施する。
	46	保健観察が丁寧に行われたか。	A	
	47	児童生徒の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な指導がなされたか。	A	
	48	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされたか。	A	
	49	治療が必要な生徒に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	50	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	51	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	A	
13 職員 会議	52	給食指導が適切になされたか。	B	無駄なく効率よくスムーズに運営できた。提案時期と原案作成者については偏ることがないように計画的に実施するよう、改めて内容を見直す時期に来ている。
	53	開始時刻が守られたか。	A	
	54	職員が問題意識を持って臨めたか。	A	
	55	議案の内容や提案の仕方が適切であったか。	A	
	56	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	57	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	58	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	
14 教職 員の 服務	59	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもと服務の厳正に努めたか。	A	職員室だよりを発行し、日頃より倫理確立や教職員の服務について研修を行ってきた。市民に信頼される教職員として職務を遂行することができている。保護者や来校者に対する接遇について研修をする計画である。
	60	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	61	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	A	
	62	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	63	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
	64	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
15 校内 研修	65	研究主題が生徒・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	一般研修、課題研修ともに計画通り実施できた。教職員は意欲をもって取り組んでいた。研修委員会については組織の見直しを図り、教職員が自主的に研修に取り組めるものに改善を図る。
	66	研究組織や進め方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	B	
	67	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	68	研究の結果、生徒の変容が見られ、子供のためになったか。	A	
	69	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	A	
	70	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	A	
16 施設 設備	71	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	施設・設備の管理は適正になされ、不良箇所も速やかに改修した。掲示物は計画性と配慮が必要で改善策を検討中である。委員会等を再編成して生徒に積極的に環境整備に当たらせる。
	72	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	A	
	73	使用後は施錠等が確実になされ、しっかり後始末ができたか。	A	
	74	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的なされたか。	B	
	75	環境整備に生徒も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	B	
17 学校 事務	76	出勤簿は毎朝、押印されたか。	A	表簿、出張、金銭ともに適正に処理されている。監査の仕組みを明確にする。
	77	旅行命令簿はその都度、適切に記入されたか。	A	
	78	出席簿は毎日記入され、月ごとの集計は滞りなく行われたか。	A	
	79	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	80	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	
18 PTA 家庭 地域	81	家庭訪問・保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	目的を明確にして取り組めた。地域の行事へもよく参加できた。担当を適切に割り振り一部の教職員に偏らないように配慮する。
	82	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	83	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	84	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	A	
19 部活動	85	部活動の指導は計画的に適切に行われたか。	A	事故、トラブルもなく運営できた。
20 総 合	86	内容は生徒の興味をそそるものであったか。	A	学年を中心に計画され、連携して取り組むことができた。学年間の連絡・調整に注意する必要がある。
	87	計画に沿って実施できたか。	A	
	88	図書室・コンピュータ室等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	